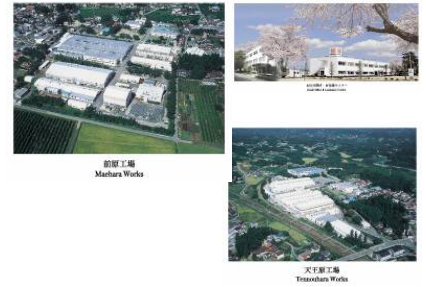


<b>北芝電機(株) 本社及び工場 サイトレポート情報</b>	
所在地	福島県福島市松川町字天王原9
敷地面積	151,000m <sup>2</sup> 、建家面積：58,000m <sup>2</sup> 、緑化率18.0%
設立	1950年2月、従業員：820人(2011年3月現在)
主要製品	変圧器、電熱装置、熱交換器、制御システム装置、回転機 小形モータ
ISO14001認証取得	1999年3月、最新更新年月：2011年3月 (ISO認証番号：EC98J1179) →2009年3月(株)キッパ 技研を拡大登録



**ごあいさつ**

北芝電機(株)は、吾妻・安達太良連峰を眺む緑豊かな自然の中に立地し、設立から半世紀以上にわたり、東北・北海道地区で唯一の重電メーカーとして、変圧器、電熱装置、熱交換器、制御システム装置、回転機、小形モータなどを製造しています。それらの製品を提供することを通じて、経済と調和させた環境活動を推進しております。



環境経営責任者 服部靖弘

**2010年度の環境の主な取組み**

☆環境経営体制の充実

- ①環境調和型製品への更なる創造、②温室効果ガスの低減、環境負荷・リスク低減に配慮した事業活動、③環境コミュニケーションの積極的推進

☆CO<sub>2</sub>排出量の削減

CO<sub>2</sub>(エネルギー)の生産高原単位を、2004年度基準・新係数算出(49.0t/億円)で26%削減(36.5t/億円)(目標27%削減)

☆化学物質排出量の削減

化学物質の排出量を、2000年度基準(38.5t)で60%削減(15.3t)(目標59.0%削減)。揮発性有機化合物(VOC)分解装置安定稼働。メッキ鋼板採用により有機溶剤塗料の使用量削減。

☆廃棄物ゼロエミッションの継続

総発生量を、2000年度基準(21.4t/億円)で78%削減(4.7t/億円)(目標68%削減)、最終処分率：0.32%

☆環境調和型製品への取組み

評価件数8件

☆取引先に関する環境配慮

資材取引先に指導・支援(6件)、環境配慮資材の調達、廃棄物委託先現地確認(5件)

☆全員参加・啓発活動の展開

環境月間による、環境教育、環境研修会(優良企業視察)等。

☆地域との協調

地域企業との各種環境行事、展示会への参加(3件)

**製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介**



環境調和型変圧器  
(ナタネ油入変圧器)



熱間圧延ライン粗バーヒータ  
(加熱装置)



ブラシレス交流励磁機



ポンプ用のDC  
ブラシレスモータ

**環境コミュニケーションの紹介**

- ・環境報告書(北芝のECO活動)：2003年より毎年発行、HPにも掲載
- ・地域との交流(参加)：東北電力(福島)主催清掃奉仕活動  
福島市総合防災訓練と消防訓練(会場)「消防署、地域住民消防団と消防隊が共に訓練」  
(主催)：会社周辺通勤路のクリーン活動(毎年実施累計25回、2009年は雨で中止)  
北芝夏祭り「地域と共に」

## 環境方針

北芝電機(株)本社工場、並びにキタシバ技研(株)は、環境に優しいものづくりを基本とし、エネルギー関連機器(変圧器、制御システム装置、電熱装置、小形電動機、熱交換器、回転機、金属プレス加工品等)の提供を通じて、顧客と社会に貢献します。

そして、恵まれた自然環境のなか、“かけがえのない地球環境を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務である”との認識に立って、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ることで生物多様性を含む持続可能な社会へ貢献します。

1. 環境への取組みを、経営の最重要課題の一つとして位置付け、経済と調和させた環境活動を推進します。
2. 環境に関する法令、当社が同意したその他の要求事項及び自主基準などを順守します。
3. 事業活動、製品およびサービスに関わる環境側面について、環境影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の予防などに関する環境目的および目標を設定して、環境活動を推進します。また、これらの活動や監査の実施をレビューすることにより、環境経営の継続的な改善を図ります。
4. 製品・システムの開発設計から保守サービスまで、次の活動に取り組み、製品のライフサイクルを通じて環境負荷の低減に寄与する環境調和型製品・サービスを提供します。また、すべての事業プロセスにおいて、地球温暖化の防止、資源の有効活用、化学物質の管理などの環境負荷低減に取り組みます。
  - (1) 地球資源の有限性を認識し、製品の減量化、長寿命化、部品の少数化・標準化・規格化、素材の明示化等の製品アセスメントを推進するとともに、省エネルギー、地球温暖化防止に寄与する環境に配慮した製品の商品化を推進します。
  - (2) 環境負荷の低減のため、グリーン調達を推進、規制化学物質の削減及び代替化に努めます。
  - (3) 老朽化した設備を順次更新し、環境負荷の少ない設備に改善します。
  - (4) 我々が水源としている阿武隈川の水質保全に配慮し、工場排水の水質汚濁防止に最大限の努力を傾注します。
  - (5) 梱包廃材、紙くず、廃プラスチック、廃油、汚泥等廃棄物の3(Reduce, Reuse, Recycle)に努めます。
  - (6) エネルギーの大半を占める電力及び燃料の消費削減に努めることにより、地球温暖化の原因の一つであるCO<sub>2</sub>の排出量削減に努めます。
5. この方針は組織で働くまたは組織のために働くすべての人に周知するとともに、社外に対しても開示します。また、取引先、関係会社等に対しても指導・支援を行い、環境活動を推進していきます。
6. 相互理解の促進のために、積極的な情報開示とコミュニケーションを行い、地域との協調・連携を図ります。

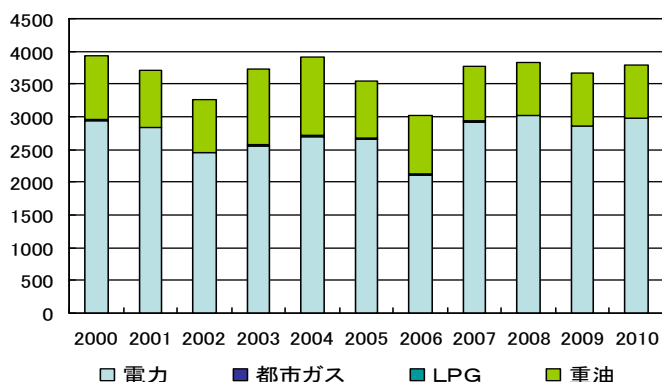
**【スローガン】「手から手へ、未来へわたそう豊かな自然」**

2011年4月

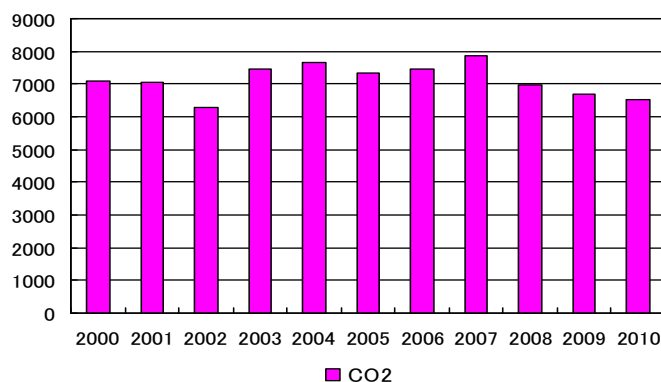
環境経営責任者 服部 靖弘

環境負荷データ

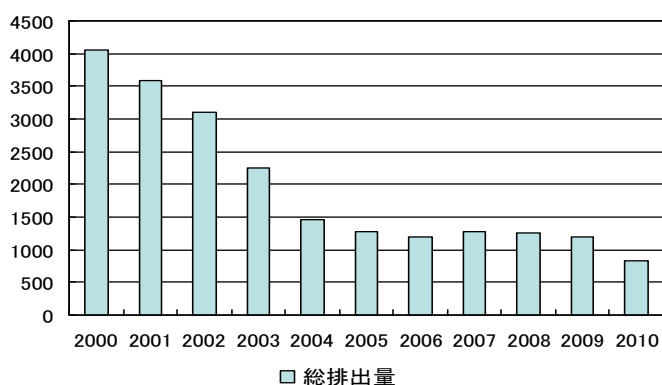
エネルギー使用量(単位:KL)



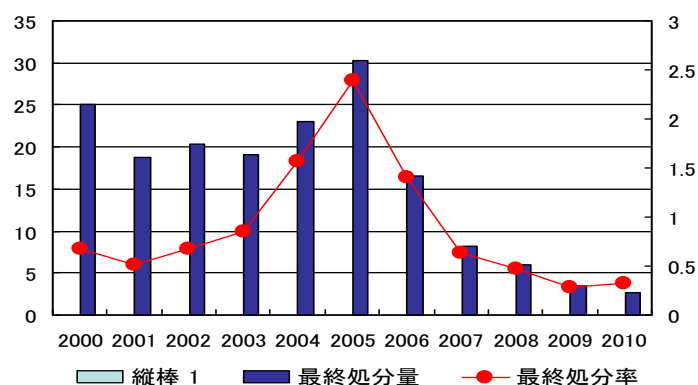
CO<sub>2</sub>排出量(単位:トン-CO<sub>2</sub>)



廃棄物総発生量(単位:トン)

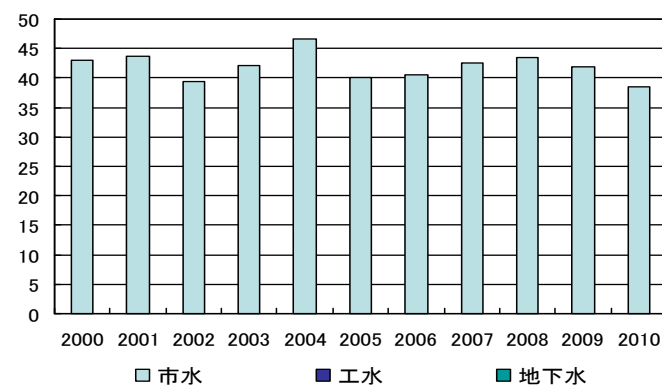


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

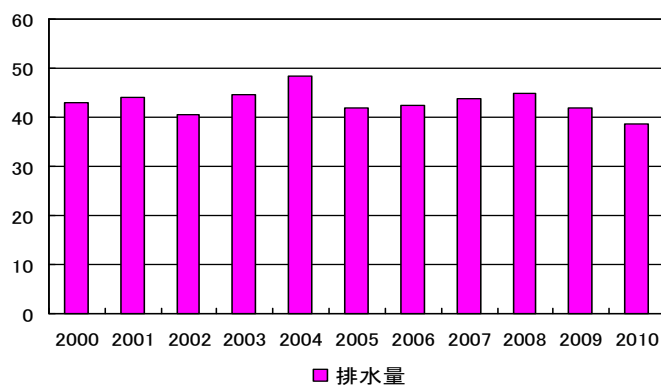


主な廃物名: 金属くず、廃油、廃プラ、木くず、紙くず、汚泥、特管廃油、ガラス類、特管感染性廃棄物

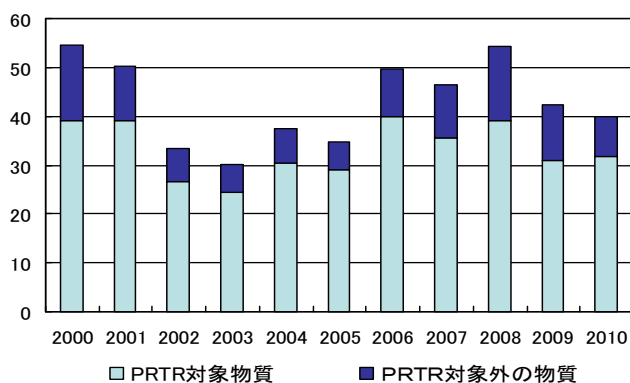
水の使用量(単位:千m<sup>3</sup>)



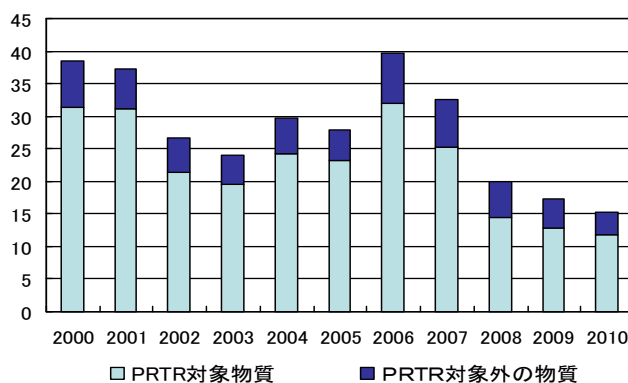
排水量(単位:千m<sup>3</sup>)



化学物質削減対象物質の取扱量(トン)



化学物質削減対象物質の排出量(トン)



主な化学物質: キシレン、トルエン、エチルベンゼン、酢酸エチル、メチルイソブチルケトン

## 遵法管理状況

<大気測定結果> (多管式小型貫流ボイラー:3台)、(ユニットヒーター:20台)・・・A重油使用

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	-	162	93	年1回
SOx(Nm3/h)	1.26	1.14	0.04	年1回
ばいじん(mg/Nm3)	-	0.27	<0.01	年1回

<排水測定結果> (主な測定結果) 燐酸処理施設一式: 酸又はアルカリ表面処理施設、河川(浅川～阿武隈川)へ放流

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.8～8.6(規制値)	6.1～8.1	7.2	月1回
BOD(mg/ℓ)	25(規制値)	22.0	7.2	月1回
COD(mg/ℓ)	(参考)	-	9.0	月1回
SS(mg/ℓ)	70(規制値)	63	6.0	月1回
窒素(mg/ℓ)	100(規制値)	90	6.3	年1回
フッ素(mg/ℓ)	8(水濁法)	7	0.1	月1回

<騒音・振動測定結果> (特定施設(機械プレス、液圧プレス、射出成形機、圧縮機など騒音関係:55台、振動関係:49台))

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	65	64	58	年1回
	敷地境界:夜	55	54	45	年1回
振動(dB)	敷地境界:昼	65	63	41	年1回
	敷地境界:夜	60	58	44	年1回

<その他測定結果> (下水道法:主な測定結果)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	-	-	-	-
BOD(mg/ℓ)	-	-	-	-
SS(mg/ℓ)	-	-	-	-

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし